

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本メディカル福祉専門学校
設置者名	学校法人 瓶井学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	臨床工学科	夜・通信	870時間	240時間	
社会福祉専門課程	こども福祉学科	夜・通信	210時間	160時間	
	保育士科	夜・通信	7単位	6単位	
(備考) こども福祉学科：1年は新課程、2年は旧課程 保育士科：1年は新課程、2～3年は旧課程					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="http://www.nmf.ac.jp">http://www.nmf.ac.jp</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本メディカル福祉専門学校
設置者名	学校法人 瓶井学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.kamei.ac.jp>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(前職) 日本管財株式会社 副センター長	平成 27 年 9 月 26 日 ～令和元年 9 月 25 日	渉外・調整
非常勤	(現職) トナミ電工株式会社 取締役会長	平成 27 年 9 月 26 日 ～令和元年 9 月 25 日	経営(産業界の動向 把握)・研修
(備考) 任期以降も、学外者である理事を2名選任します			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本メディカル福祉専門学校
設置者名	学校法人 瓶井学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教務会議で教育指針を決定し、各科目の到達目標を設定、各科目間のバランス、各科目の授業レベルを決定する。その指針に基づいて授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準、実務経験等事項を記載したものを作成し、公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="http://www.nmf.ac.jp">http://www.nmf.ac.jp</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバス(授業概要)により、各試験成績(1回/年から4回/年)、実習や演習教科ではレポート課題、平常点(学習の意欲)の割合などを記載し、担当教員より成績評価を行う。また教科を複数の教員が授業を行う場合は、全ての成績を合算し、平均をとって最終的な成績評価とする。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

公表しているシラバスの内容に基づき、以下の方法にて成績評価を行っている。

- ① 学業成績は、授業概要に記載のある各科目の「単位認定の方法及び評価の基準」に基づく客観的基準により決定される。
- ② 評価は、秀 (100点～90点) 優 (89点～80点)・良 (79～70点)・可 (69～60点)・不可 (59点以下) で60点以上を合格とし、それに満たないものは不合格とする。
- ③ 客観的評価 GPA 制度について  
GPAとは、「Grade Point Average」の略で、授業科目の成績評価に対して点数GP (Grade Point) を与え、その点数に各科目の単位数を乗じた合計を、各学年の科目の総単位数で割って算出した平均値のことをいう。

#### 成績評価基準と GP

成績評価	GP	備考
秀	4	到達目標を十分に達成しており、優れた成果をおさめている。
優	3	到達目標を十分に達成している。
良	2	到達目標を達成している。
可	1	到達目標を最低限達成している。
不可	0	到達目標を達成していない。

GPA の計算例  $GPA = (\text{科目の単位数} \times GP) \text{ の合計} / \text{全科目の単位数の合計}$

\*小数点第2位下四捨五入、\*分母の総単位数には、不合格科目の単位数を含む

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

<http://www.nmf.ac.jp>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>・臨床工学科</p> <p>本校臨床工学科に3年以上在籍し、必修科目が全て合格であると卒業が認定され、専門士の称号が与えられます。卒業が認定されると臨床工学技士国家試験受験資格が与えられます。</p> <p>臨床工学技士として必要な知識、技術力を持ち、医師や他の医療スタッフと連携し、チーム医療を実現していく。また、他の医療スタッフとの情報の共有のためのコミュニケーション能力を身につける。患者さん対応などで人に対していたわりの心で接する事の出来る人間力を身につけていること下記の能力を身につけた人材に専門士の称号を授与します。</p> <p>① 高度な先端医療機器を扱うために必要な知識と技術力  ② チーム医療に必要な協調性とコミュニケーション能力  ③ 医療人としてふさわしい人間力</p>	
<p>卒業の認定に関する  方針の公表方法</p>	<p><a href="http://www.nmf.ac.jp">http://www.nmf.ac.jp</a></p>

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

・こども福祉学科

「こども福祉学科」(昼間 2 年の通学制)は、ソーシャルワークの力量を兼ね備えた保育士の養成を目標とし、「保育士」とソーシャルワークの基礎資格としての「社会福祉士」の W ライセンスの取得をめざして、卒業時に「保育士」の資格を取得するのに必要な科目、および「社会福祉士」の国家試験受験に必要な科目を中心に学び、各々の専門的知識と技術及び価値観を持った保育者を育成することをめざしている。

以下の資質・能力を身に付け、所定の単位を修めた者に学位(専門士)を与える。

1. 教育・保育に必要な専門性

一人ひとりの子どもの最善の利益を第一に考え、子どもを理解し、援助する保育者として、保育を通してその福祉を学び、探究し向上しようとする態度を有している。

2. 保育の実践技術力

保育現場での経験が豊富な講師の指導により、保育のプロとして求められる実践的な技術を習得している。

3. 人間力・適応力

社会人としての教養、豊かな感性を身に付け、子どもの立場に立って共感できる力を身に付けている。また、コミュニケーション力を発揮し、他と協働しながら様々な問題に対応し解決できる実践力を習得している。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

<http://www.nmf.ac.jp>

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

・保育士科

「保育士科」(3年の通信制)は、地域や時間に縛られず、多様な可能性が発揮できる学びの場で、根拠に裏付けされた実践力と対象者への深い慈しみの心を持った保育士の養成を目標とし、卒業時に「保育士」の資格取得に必要な科目履修にとどまらず、共生社会を支えることのできる人材育成をめざしている。

以下の資質・能力を身に付け、所定の単位を納めた者に学位(専門士)を与える。

1. 教育・保育に必要な専門性

一人ひとりの子どもの最善の利益を第一に考え、子どもを理解し、援助する保育者として、保育を通してその福祉を学び、探究し向上しようとする態度を有している。

2. 保育の実践技術力

保育現場での経験が豊富な講師の指導により、保育のプロとして求められる実践的な技術を習得している。

3. 人間力・適応力

社会人としての教養、豊かな感性を身に付け、子どもの立場に立って共感できる力を身に付けている。また、コミュニケーション力を発揮し、他と協働しながら様々な問題に対応し解決できる実践力を習得している。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

<http://www.nmf.ac.jp>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本メディカル福祉専門学校
設置者名	学校法人 瓶井学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://www.kamei.ac.jp">http://www.kamei.ac.jp</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://www.kamei.ac.jp">http://www.kamei.ac.jp</a>
財産目録	<a href="http://www.kamei.ac.jp">http://www.kamei.ac.jp</a>
事業報告書	<a href="http://www.kamei.ac.jp">http://www.kamei.ac.jp</a>
監事による監査報告（書）	<a href="http://www.kamei.ac.jp">http://www.kamei.ac.jp</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	臨床工学科	文部科学省 告示 平成12年 第17号	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2940時間 単位時間	2310 時間		510時 間	120時 間	
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		64人	1人	7人	41人	48人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教務会議で教育指針を決定し、各科目の到達目標を設定、各科目間のバランス、各科目の授業レベルを決定する。その指針に基づいて授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準、実務経験等事項を記載したものを作成し、公表している。



成績評価の基準・方法
(概要) シラバス(授業概要)により、各試験成績(1回/年から4回/年)、実習や演習教科ではレポート課題、平常点(学習の意欲)の割合などを記載し、担当教員より成績評価を行う。また教科を複数の教員が授業を行う場合は、全ての成績を合算し、平均をとって最終的な成績評価とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 1、2年生においての各学年での設定科目が成績で60点以上であり、出席数が全体の3/4以上、各科目の出席数が2/3以上で進級することができる。 3年生においては、第1回～第7回までの卒業暁試験の平均が60点以上かつ第7回卒業試験が60点以上であること。また3年生の設定科目が成績60点以上であり、出席数が全体の3/4以上、各科目の出席が2/3以上で卒業することができる。
学修支援等
(概要) 学生の質問には個別で対応している。また各学年で担任より個人面談を実施しており、問題点があれば把握し対処している。場合によっては保護者を交えて面談も行う。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25人 (100%)	1人 (4%)	15人 (60%)	9人 (36%)
(主な就職、業界等) 病院、クリニック、医療機器関連会社 等			
(就職指導内容) 個人面談を行い、学生の希望する就職先を見学など行い、最終的に受験してもらっている。履歴書の書き方の指導、面接でのポイントなどのアドバイスを行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 臨床工学技士国家試験や第2種ME検定試験の合格をめざしている。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
64人	1人	1.5%
(中途退学の主な理由) 本人の希望による進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 補習授業の実施および個人面談や校長面接、保護者との連絡、3者面談など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		社会福祉専門課程	こども福祉学科	文部科学省 告示 平成21年 第21号	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1770時間 単位時間	585 時間	102 0時間	320 時間		45 時間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		15人	0人	9人	22人	31人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 教務会議で教育指針を決定し、各科目の到達目標を設定、各科目間のバランス、各科目の授業レベルを決定する。その指針に基づいて授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準、実務経験等事項を記載したものを作成し、公表している。
成績評価の基準・方法
(概要) シラバス (授業概要) により、各試験成績 (1回から4回/年)、実習や演習教科ではレポート課題、平常点 (学習の意欲) の割合などを記載し、担当教員より成績評価を行う。また教科を複数の教員が授業を行う場合は、全ての成績を合算し、平均をとって最終的な成績評価とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 1年生において、設定科目が成績で60点以上であり、出席数が全体の3/4以上、各科目の出席数が2/3以上で進級することができる。 2年生においては、設定科目が成績で60点以上であり、出席数が全体の3/4以上、各科目の出席数が2/3以上で卒業することができる。

学修支援等
(概要) 学生の質問には個別で対応している。また各学年で担任より個人面談を実施しており、問題点があれば把握し対処している。場合によっては保護者を交えて面談も行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	0人 ( 0%)	3人 ( 75%)	1人 ( 25%)
(主な就職、業界等) 保育所、児童福祉事業、老人福祉施設			
(就職指導内容) 保育所、児童養護施設			
(主な学修成果（資格・検定等）) 個人面談を行い、学生の希望する就職先の情報提供を行い、見学等の紹介をする。また、履歴書の書き方の指導、面接でのポイントなどのアドバイスを行っている。			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制による個別面談などを行い随時学生の現状把握及び指導（支援を含む）を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		社会福祉専門課程	保育士科	文部科学省 告示 平成31年 第3号	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	70 単位	40 単位	35 単位	8 単位	単位	1 単位
	単位時間／単位						
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
480人	73人	0人	11人	25人	36人		
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
<p>（概要）</p> <p>教務会議で教育指針を決定し、各科目の到達目標を設定、各科目間のバランス、各科目の授業レベルを決定する。その指針に基づいて授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準、実務経験等事項を記載したものを作成し、公表している。</p>							
成績評価の基準・方法							
<p>（概要）</p> <p>シラバス（授業概要）により、レポート、面接授業評価（学習の意欲）の割合などを記載し、担当教員より成績評価を行う。また教科を複数の教員が授業を行う場合は、全ての成績を合算し、平均をとって最終的な成績評価とする。</p>							
卒業・進級の認定基準							
<p>（概要）</p> <p>卒業認定の基準は、各設定面接授業への参加、および全設定科目が成績で60点以上で卒業することができる。</p>							
学修支援等							
<p>（概要）</p> <p>学生の質問にはメールや電話、登校時、個別で対応し、問題点があれば把握し対処している。場合によっては保護者を交えて面談も行う。</p>							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29人 (100%)	1人 ( 3%)	12人 ( 41%)	16人 ( 55%)
(主な就職、業界等) 保育所、児童福祉事業、老人福祉施設			
(就職指導内容) 学生の希望する就職先の情報提供をする。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 保育士資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
75人	1人	2%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情による		
(中退防止・中退者支援のための取組) 補修授業の実施、および個人面談や校長面接の実施、保護者との連絡、3者面談など		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	実習教材費 学生厚生費	備考 (任意記載事項)
臨床工学科	270000 円	1200000 円	111700 円	
こども 福祉学科	200000 円	800000 円	18200 円	
保育士科	30000 円	194000 円	3000 円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
<a href="http://www.nmf.ac.jp">http://www.nmf.ac.jp</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
学校で作成した自己点検自己評価報告書を基に、学校関係者評価委員会を行い、委員の先生方に各種、意見をいただき、その内容を実施している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
大阪府臨床工学技士会 理事	平成31年4月1日 ～令和2年3月31日 (1年更新)	企業等委員
	平成31年4月1日 ～令和2年3月31日 (1年更新)	高等学校元校長
社会福祉法人若葉会保育園こどものくに 園長	平成31年4月1日 ～令和2年3月31日 (1年更新)	企業等委員
社会福祉法人 西成区社会福祉協議会	平成31年4月1日 ～令和2年3月31日 (1年更新)	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<a href="http://www.nmf.ac.jp">http://www.nmf.ac.jp</a>
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<a href="http://www.nmf.ac.jp">http://www.nmf.ac.jp</a>